



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ヒビノ株式会社

コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ長 (氏名) 大関 靖 TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,090	19.7	618	—	802	—	328	—
2023年3月期第2四半期	17,615	△23.5	△560	—	△285	—	△295	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 477百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.15	—
2023年3月期第2四半期	△29.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,155	9,771	25.9
2023年3月期	36,864	9,482	24.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,362百万円 2023年3月期 9,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	14.5	2,000	62.7	2,100	50.0	1,200	97.5	120.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,265,480株	2023年3月期	10,265,480株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	342,687株	2023年3月期	342,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,922,793株	2023年3月期2Q	9,887,793株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことで経済社会活動の正常化が一段と進む中、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、不安定な国際情勢や海外景気の下振れリスクをはじめ、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行きが見通せない状況にあります。

このような状況のもと当社グループは、グループビジョン「世界のヒビノへ」の実現に向け、中期経営計画「ビジョン2025」（2023年3月期～2026年3月期）に取り組んでいます。本中期経営計画では、中期経営方針として「持続的成長を可能とする経営体質の構築」「健全経営の確立」の2つを掲げています。成長戦略である「ハニカム型経営」と「イノベーション」を加速させ、M&Aも活用しながら新領域を伸ばすとともに、適正な利益、財務の安定、人的資本の向上の好循環サイクルを確立していきます。

当第2四半期連結累計期間は、コロナ禍で抑制されてきたコンサート・イベント市場が急速なペースで復活、拡大し、コンサート・イベントサービス事業が好調に推移しました。販売施工事業、建築音響施工事業においても、顧客の設備投資意欲の回復や都市再開発計画の進展を背景に受注が積み上がり、すべてのセグメントで前年同四半期を上回る売上高及び利益となりました。

これらの結果、売上高21,090百万円（前年同四半期比19.7%増）、営業利益618百万円（前年同四半期は営業損失560百万円）、経常利益802百万円（前年同四半期は経常損失285百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益328百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失295百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[販売施工事業]

販売施工事業は、主軸である業務用音響・映像機器等の輸入販売及び施工において、顧客の設備投資が活発化し、特にコンサート・イベント市場と設備市場で持ち直しが続いています。音楽ホールや都心の再開発ビル、放送局、広告クリエイティブスタジオ等の大型案件に恵まれました。利益面につきましては、円安の進行等に伴う商品仕入原価の上昇を受けて前連結会計年度より段階的に実施している販売価格改定の効果により、収益性が向上しています。

LEDディスプレイ・システム販売については、都心のエンターテインメント施設及び再開発ビル向けの大型案件を手掛け、好調に推移しました。

韓国市場は、物価上昇等による景気減速傾向が続く中、直販ビジネスの強化によりシステム案件が増加し、事業規模の拡大が進みました。

これらの結果、売上高9,922百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益1百万円（前年同四半期はセグメント損失378百万円）となりました。

[建築音響施工事業]

建築音響施工事業は、放送局の建替やスタジオの新設、都市再開発に伴う文化・交流施設の新築計画が中長期的に控えていることから、良好な事業環境にあります。いくつかの大型案件で着工や工程の遅れが発生し、売上の計上時期が下期または来期にスライドしましたが、再開発関連や大学施設等の建築音響案件を中心に複数のプロジェクトが進捗したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。原価低減活動に加え、工事契約金額の見直しが行われたことが寄与し、利益も改善しました。

これらの結果、売上高3,338百万円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント損失34百万円（前年同四半期はセグメント損失204百万円）となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、主力のコンサート市場が活況を呈しており、ドーム・アリーナツアーや海外アーティストの来日公演等が続々と開催される中、新規アーティストの案件を獲得できたこともあって好調に推移しました。また、大規模な集客が可能となったことからイベント演出への投資が増加しており、企業イベント、コンベンション、スポーツイベント等の主要市場でコロナ禍前の売上高を上回りました。バーチャルプロダクションについては、テレビドラマ等での継続的な役務提供により、安定的に売上を確保しています。

さらに、2023年5月に開催された大型国際会議では、国際メディアセンター及び各会場にてCCTV・音響・照明システムの運用を担当したほか、7月に開催された「世界水泳選手権2023福岡大会」では、競技会場4カ所とパブリックビューイング会場にて大型映像システムの運用を担当しました。これら特需的要素の取り込みも寄与し、グループ全体の売上高及び利益拡大をけん引しました。

これらの結果、売上高7,829百万円（前年同四半期比21.9%増）、セグメント利益1,324百万円（前年同四半期比133.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は36,155百万円となり、前連結会計年度末と比べて708百万円減少しました。現金及び預金並びに商品及び製品が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。

負債合計は26,384百万円となり、前連結会計年度末と比べて997百万円減少しました。これは短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は9,771百万円となり、前連結会計年度末と比べて289百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を踏まえ、2023年5月12日に公表しました予想数値を修正し、売上高48,000百万円（前連結会計年度比14.5%増）、営業利益2,000百万円（同62.7%増）、経常利益2,100百万円（同50.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円（同97.5%増）といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,754,856	3,891,089
受取手形、売掛金及び契約資産	11,502,238	8,980,217
商品及び製品	6,174,492	6,687,833
仕掛品	845,845	884,448
原材料及び貯蔵品	143,646	170,971
その他	1,460,952	1,104,781
貸倒引当金	△38,451	△40,759
流動資産合計	22,843,581	21,678,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,737,274	2,830,259
減価償却累計額	△1,323,179	△1,366,053
建物及び構築物 (純額)	1,414,094	1,464,205
機械装置及び運搬具	16,412,823	17,767,988
減価償却累計額	△12,439,836	△12,758,866
機械装置及び運搬具 (純額)	3,972,986	5,009,122
工具、器具及び備品	2,434,723	2,495,297
減価償却累計額	△1,931,698	△2,012,102
工具、器具及び備品 (純額)	503,025	483,194
リース資産	1,542,779	1,501,252
減価償却累計額	△917,373	△911,789
リース資産 (純額)	625,405	589,462
その他	1,722,730	1,074,921
有形固定資産合計	8,238,243	8,620,906
無形固定資産		
のれん	1,703,079	1,578,709
その他	451,337	460,623
無形固定資産合計	2,154,417	2,039,333
投資その他の資産		
その他	3,667,991	3,839,105
貸倒引当金	△39,713	△22,010
投資その他の資産合計	3,628,278	3,817,094
固定資産合計	14,020,939	14,477,334
資産合計	36,864,520	36,155,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,627,179	3,361,436
短期借入金	6,725,036	4,753,540
1年内返済予定の長期借入金	4,492,859	4,437,724
リース債務	307,862	281,752
未払法人税等	206,019	265,481
賞与引当金	776,074	737,278
その他	2,510,942	2,731,983
流動負債合計	18,645,972	16,569,195
固定負債		
長期借入金	5,979,881	7,042,499
リース債務	332,044	320,719
退職給付に係る負債	2,165,613	2,190,564
資産除去債務	163,743	164,221
その他	94,914	97,022
固定負債合計	8,736,197	9,815,026
負債合計	27,382,169	26,384,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,005,583	2,005,583
利益剰余金	5,176,709	5,356,854
自己株式	△241,432	△241,432
株主資本合計	8,689,516	8,869,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,670	55,527
繰延ヘッジ損益	△5,522	—
為替換算調整勘定	227,555	278,753
退職給付に係る調整累計額	165,879	158,889
その他の包括利益累計額合計	428,583	493,171
非支配株主持分	364,251	408,863
純資産合計	9,482,350	9,771,695
負債純資産合計	36,864,520	36,155,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,615,891	21,090,651
売上原価	11,942,180	13,495,778
売上総利益	5,673,711	7,594,873
販売費及び一般管理費	6,234,064	6,976,236
営業利益又は営業損失(△)	△560,353	618,636
営業外収益		
受取利息	2,655	2,887
受取配当金	10,833	14,368
保険解約返戻金	124,277	5,746
為替差益	68,640	231,294
助成金収入	43,937	2,180
その他	97,532	58,218
営業外収益合計	347,877	314,696
営業外費用		
支払利息	49,378	77,516
支払手数料	9,325	6,218
その他	14,438	47,524
営業外費用合計	73,143	131,260
経常利益又は経常損失(△)	△285,618	802,072
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△285,618	802,072
法人税等	△9,831	409,794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△275,787	392,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,978	63,291
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△295,766	328,986

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△275,787	392,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,988	14,857
繰延ヘッジ損益	4,259	5,522
為替換算調整勘定	80,461	72,156
退職給付に係る調整額	△2,136	△6,989
その他の包括利益合計	70,596	85,546
四半期包括利益	△205,190	477,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,341	393,574
非支配株主に係る四半期包括利益	17,150	84,249

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売施工事業	建築音響施工事業	コンサート・ イベントサービス 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	8,425,960	2,764,182	6,425,749	17,615,891	—	17,615,891
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	29,338	12,126	40,694	82,159	△82,159	—
計	8,455,298	2,776,308	6,466,443	17,698,050	△82,159	17,615,891
セグメント利益 又は損失(△)	△378,295	△204,346	566,785	△15,856	△544,496	△560,353

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△544,496千円には、セグメント間取引消去135,118千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△679,614千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売施工事業	建築音響施工事業	コンサート・ イベントサービス 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	9,922,057	3,338,661	7,829,932	21,090,651	—	21,090,651
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	35,955	2,146	20,423	58,524	△58,524	—
計	9,958,013	3,340,807	7,850,356	21,149,176	△58,524	21,090,651
セグメント利益 又は損失(△)	1,463	△34,437	1,324,615	1,291,642	△673,006	618,636

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△673,006千円には、セグメント間取引消去115,723千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△788,729千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。